



## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月29日

上場会社名 日本バルカ一工業株式会社

コード番号 7995 URL <http://www.valqua.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 瀧澤 利一

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部SR室長

(氏名) 小田 博志

四半期報告書提出予定日 平成21年8月10日

TEL 03-5434-7370

配当支払開始予定日

—

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
22年3月期第1四半期	百万円 6,823	% △40.4	百万円 △133	% —	百万円 △156	% —	百万円 △72	% —
21年3月期第1四半期	11,456	—	1,177	—	1,203	—	557	—
1株当たり四半期純利益			潜在株式調整後1株当たり四半期純利益					
22年3月期第1四半期	円 銭 △0.81		—	円 銭 6.15		6.14		
21年3月期第1四半期								

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
22年3月期第1四半期	百万円 35,085	百万円 22,692	% 62.3	円 銭 244.36
21年3月期	35,239	22,635	61.9	243.87

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 21,868百万円 21年3月期 21,827百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
21年3月期	円 銭 —	円 銭 5.50	円 銭 —	円 銭 2.50	円 銭 8.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

当社は定款において第2四半期末日および期末日を基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
第2四半期 連結累計期間 通期	百万円 14,000	% △38.9	百万円 50	% △97.9	百万円 △50	% —	百万円 △50	% —	円 銭 △0.56
	32,000	△19.0	1,000	△64.0	700	△72.3	300	△65.1	3.35

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧下さい。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- |                 |   |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更        | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                      |             |             |             |             |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 22年3月期第1四半期 | 93,443,668株 | 21年3月期      | 93,443,668株 |
| ② 期末自己株式数            | 22年3月期第1四半期 | 3,949,438株  | 21年3月期      | 3,939,363株  |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第1四半期 | 89,498,434株 | 21年3月期第1四半期 | 90,717,627株 |

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、4ページをご参照下さい。
2. 当社は、株主に対する長期安定的な利益還元の実施を経営の最重要課題としております。しかしながら、経営環境の先行きが依然不透明であることにより、当期の配当につきましては現時点では未定とし、今後の業績動向を勘案した上で、可能となった時点で速やかに開示させていただきます。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

#### (1) 当第1四半期の概況

当第1四半期のわが国経済動向は、企業の景況感に底打ちが窺える一方で、設備投資が大幅に減少し、個人消費は弱めの動きとなっている等、昨年来の急激かつ大規模な景気減速の影響が残る状況のままに推移いたしました。

このような事業環境下にありまして当社グループは、今期からスタートした第5次中期経営計画“N V・S 5 (New Valqua Stage Five)”で掲げた諸戦略に基づき、新たな事業体制下で合理化・効率化を追求するとともに、新規開発製品の用途開発など新たな市場展開に向けた取り組みを強化いたしました。

しかしながら景況悪化の影響は避けられず、当第1四半期の連結経営成績につきましては、売上高68億2千3百万円（前年同期比40.4%減）、営業損失1億3千3百万円、経常損失1億5千6百万円、四半期純損失7千2百万円となりました。

#### (2) 事業部門ならびに製品区分別の概況

当社グループは、強みの追求とそれを基点とした製品開発力・マーケティング力・収益力の強化を目的として、当第1四半期から事業体制を従来の市場を軸とした体制から製品を軸にした体制へと変更しております。

これに伴い、「6.その他の情報 生産、受注及び販売の状況」における事業部門区分を変更するとともに、記載する数値は前第1四半期を含め全て新たな区分により算出して前年同期比較をしております。

##### (シール事業部門)

シール事業部門につきましては、主な向け先である重化学工業や自動車産業などの基幹産業分野、半導体関連産業などの先端産業分野の双方における需要減により、売上高は53億9千5百万円（同33.3%減）となりました。

主な製品別では、プラント・機器関連製品が、重化学工業全般の設備稼働率低下に伴う需要減退と顧客および販売代理店における在庫圧縮の影響により、売上高が32億5千3百万円（前年同期比16.3%減）となりました。

エラストマー製品は、汎用エラストマー製品で産業機械などの生産台数減少、高機能エラストマー製品で半導体関連産業の新規設備投資抑制の影響により、売上高が12億7千7百万円（同52.1%減）となりました。

自動車部品は、一部特定車種向けを除いて生産台数が大幅に減少した影響により、売上高が7億2千6百万円（同45.3%減）となりました。

##### (機能製品事業部門)

機能製品事業部門につきましては、主な向け先である電気・電子産業、半導体関連産業などの需要減により、売上高は14億2千7百万円（前年同期比57.5%減）となりました。

主な製品である機能樹脂製品では、電気・電子産業などにおける生産活動の停滞と半導体関連産業における新規設備投資の抑制による影響を受け、売上高が12億7千3百万円（同53.8%減）となりました。

なお、所在地別セグメントの業績は、次のとおりであります。

国内においては、幅広い産業における生産活動の停滞の影響を受け、売上高が62億1百万円（前年同期比40.6%減）、営業損失1億4千3百万円となりました。

主な海外所在地セグメントであるアジア地区においては、特に半導体関連産業の生産調整と新規設備投資抑制の影響を受け、売上高が5億3千2百万円（前年同期比37.3%減）、営業損失4千8百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は350億8千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億5千3百万円減少いたしました。流動資産は167億9千4百万円となり、1億9千2百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少5億9千8百万円、受取手形及び売掛金の増加6億9千6百万円、未収入金の減少3億5千8百万円等であります。固定資産は182億7千2百万円となり、4千1百万円増加いたしました。主な要因は、有形固定資産の減少1億4千4百万円、投資有価証券の増加4億2千2百万円、前払年金費用の減少9千6百万円、長期繰延税金資産の減少1億7千6百万円等であります。

負債合計は123億9千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億1千万円減少いたしました。流動負債は、91億9千9百万円となり、1億8千7百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少3億7千6百万円、未払費用の増加5億3千5百万円、賞与引当金の減少2億8千4百万円等であります。固定負債は31億9千3百万円となり、2千2百万円減少いたしました。主な要因は、長期繰延税金負債の減少1千7百万円等であります。

純資産の部は226億9千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ5千6百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の配当による減少2億2千3百万円、その他有価証券評価差額金の増加2億6千3百万円等であります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の61.9%から62.3%となり、0.4ポイント増加いたしました。

#### (キャッシュ・フローについて)

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、2億円の支出となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純損失1億3千9百万円、減価償却費3億3千5百万円、売上債権の増加6億6千万円、仕入債務の減少4億5百万円、その他の増加4億9千9百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億6千万円の支出となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出2億1千5百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億7千5百万円の支出となりました。

これは主に、配当金の支払い1億9千万円等によるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて6億1百万円減少し、35億3千3百万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は、厳しい経済環境を反映した結果となりました。

通期に向けての事業環境は、国内の一部産業で生産の持ち直しが見られるとともに、海外市場においても半導体関連で景況に回復が窺えるなどの明るい材料がある一方で、企業収益の回復の遅れから既存設備の稼働率低下によるメンテナンス需要の減少や設備投資のさらなる先送りも懸念され、予断を許しません。

当社グループといたしましては、第1四半期連結累計期間の業績と上記のような事業環境等を勘案し、第2四半期連結累計期間業績予想ならびに通期連結業績予想を修正いたしました。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	3,573	4,171
受取手形及び売掛金	9,336	8,639
商品及び製品	953	1,114
仕掛品	102	116
原材料及び貯蔵品	290	291
その他	2,547	2,663
貸倒引当金	△9	△11
流动資産合計	16,794	16,986
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,906	4,978
土地	3,770	3,769
その他（純額）	3,875	3,948
有形固定資産合計	12,552	12,696
無形固定資産		
のれん	4	5
その他	575	575
無形固定資産合計	579	581
投資その他の資産		
その他	5,197	5,005
貸倒引当金	△57	△52
投資その他の資産合計	5,139	4,953
固定資産合計	18,272	18,230
繰延資産	19	22
資産合計	35,085	35,239

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間末  
(平成21年6月30日)前連結会計年度末に係る  
要約連結貸借対照表  
(平成21年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,673	4,050
短期借入金	3,512	3,463
1年内返済予定の長期借入金	114	119
未払法人税等	103	179
引当金	138	459
その他	1,656	1,115
流動負債合計	9,199	9,387
固定負債		
社債	2,000	2,000
長期借入金	420	419
退職給付引当金	351	351
負ののれん	0	—
その他	421	445
固定負債合計	3,193	3,216
負債合計	12,393	12,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,957	13,957
資本剰余金	4,199	4,199
利益剰余金	5,104	5,400
自己株式	△1,133	△1,132
株主資本合計	22,127	22,424
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	92	△171
為替換算調整勘定	△351	△426
評価・換算差額等合計	△258	△597
新株予約権	472	448
少数株主持分	351	358
純資産合計	22,692	22,635
負債純資産合計	35,085	35,239

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	11,456	6,823
売上原価	7,391	4,405
売上総利益	4,064	2,418
販売費及び一般管理費	2,887	2,551
営業利益又は営業損失(△)	1,177	△133
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	29	15
設備賃貸料	41	43
持分法による投資利益	19	—
その他	53	37
営業外収益合計	147	99
営業外費用		
支払利息	29	33
設備賃貸費用	36	45
その他	56	43
営業外費用合計	121	122
経常利益又は経常損失(△)	1,203	△156
特別利益		
固定資産売却益	—	0
貸倒引当金戻入額	3	—
役員賞与引当金戻入額	—	27
その他	0	2
特別利益合計	3	30
特別損失		
固定資産廃棄損	4	2
特別退職金	135	5
石綿疾病補償金	—	5
その他	40	0
特別損失合計	180	13
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,025	△139
法人税、住民税及び事業税	583	51
法人税等調整額	△122	△125
法人税等合計	460	△74
少数株主利益	7	7
四半期純利益又は四半期純損失(△)	557	△72

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,025	△139
減価償却費	327	335
受取利息及び受取配当金	△32	△17
支払利息	29	33
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5	△0
前払年金費用の増減額(△は増加)	△47	96
固定資産廃棄損	4	2
売上債権の増減額(△は増加)	△311	△660
たな卸資産の増減額(△は増加)	△109	194
仕入債務の増減額(△は減少)	834	△405
その他	△44	499
<b>小計</b>	<b>1,681</b>	<b>△59</b>
利息及び配当金の受取額	33	17
利息の支払額	△29	△38
法人税等の支払額	△787	△119
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>898</b>	<b>△200</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△567	△215
有形固定資産の売却による収入	1	0
無形固定資産の取得による支出	△31	△6
差入保証金の差入による支出	△65	△46
差入保証金の回収による収入	17	7
その他	△11	△0
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△657</b>	<b>△260</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	86	75
短期借入金の返済による支出	△92	△48
長期借入れによる収入	—	2
長期借入金の返済による支出	△18	△12
株式の発行による収入	213	—
配当金の支払額	△376	△176
少数株主への配当金の支払額	△13	△13
その他	△18	△2
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△219</b>	<b>△175</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△89	35
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△67	△601
現金及び現金同等物の期首残高	3,876	4,135
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,809	3,533

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

全セグメントの売上高の合計、営業利益の金額の合計に占める「各種工業用部品・部材製品の製造・販売事業」の割合がいずれも90%を超えていたため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	10,442	849	164	11,456	—	11,456
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	460	980	12	1,454	(1,454)	—
計	10,902	1,830	177	12,911	(1,454)	11,456
営業利益	1,008	126	16	1,151	26	1,177

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,201	532	89	6,823	—	6,823
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	319	501	1	822	(822)	—
計	6,521	1,034	90	7,646	(822)	6,823
営業利益（又は営業損失）	(143)	(48)	0	(191)	58	(133)

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度により区分しております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は、次のとおりであります。

- (1) アジア ..... 中国・台湾・タイ・韓国・ベトナム
- (2) 北米 ..... アメリカ合衆国

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	1,203	379	9	1,591
II 連結売上高(百万円)				11,456
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.5	3.3	0.1	13.9

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	718	196	8	924
II 連結売上高(百万円)				6,823
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.5	2.9	0.1	13.5

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度により区分しております。  
 2 本国以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は、次のとおりであります。  
     (1) アジア ・・・ 中国・台湾・タイ・シンガポール・韓国・ベトナム  
     (2) 北米 ・・・ アメリカ合衆国  
     (3) その他の地域 ・・・ ヨーロッパ  
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本国以外の国又は地域に対する売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 6. その他の情報

### 生産、受注及び販売の状況

当第1四半期より事業部門の内訳をシール事業・機能製品事業の2区分に変更しております。また、従来の事業部門は、製品区分としてそれぞれ（プラント・機器関連製品）、（エラストマー製品）、（自動車部品）、（その他シール製品）と（機能樹脂製品）、（その他機能製品）に変更しております。

#### (1) 生産実績

(単位：百万円)

事業部門 製品区分	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	増減率(%)
シール事業	1,923	827	△57.0
プラント・機器関連製品	679	292	△57.0
エラストマー製品	1,145	535	△53.2
自動車部品	98	—	—
機能製品事業	1,307	283	△78.3
機能樹脂製品	805	213	△73.5
その他機能製品	502	70	△86.0
合 計	3,230	1,111	△65.6

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 仕入実績

(単位：百万円)

事業部門 製品区分	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	増減率(%)
シール事業	3,725	1,725	△53.7
プラント・機器関連製品	1,713	833	△51.4
エラストマー製品	687	389	△43.3
自動車部品	1,143	371	△67.5
その他シール製品	180	131	△27.2
機能製品事業	1,389	709	△49.0
機能樹脂製品	1,389	709	△49.0
合 計	5,114	2,434	△52.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注状況

(単位：百万円)

事業部門	受注高			受注残高		
	前第1四半期 連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	増減率(%)	前第1四半期 連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	増減率(%)
製品区分						
シール事業	8,578	5,431	△36.7	3,020	1,907	△36.8
プラント・機器関連製品	4,349	3,200	△26.4	1,618	1,138	△29.7
エラストマー製品	2,701	1,363	△49.5	1,169	643	△45.0
自動車部品	1,315	747	△43.2	164	97	△40.7
その他シール製品	212	120	△43.3	67	27	△58.7
機能製品事業	3,129	1,479	△52.7	1,720	647	△62.4
機能樹脂製品	2,699	1,267	△53.0	1,336	443	△66.8
その他機能製品	429	211	△50.7	384	203	△47.0
合 計	11,707	6,911	△41.0	4,741	2,554	△46.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(4) 販売実績

(単位：百万円)

事業部門	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	増減率(%)		
				製品区分	
シール事業		8,094	5,395		△33.3
プラント・機器関連製品		3,886	3,253		△16.3
エラストマー製品		2,665	1,277		△52.1
自動車部品		1,327	726		△45.3
その他シール製品		214	138		△35.6
機能製品事業		3,361	1,427		△57.5
機能樹脂製品		2,754	1,273		△53.8
その他機能製品		607	154		△74.5
合 計		11,456	6,823		△40.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。